

国家的に重要な研究開発における進捗状況等の確認について ～フラッグシップ 2020 プロジェクト(ポスト「京」の開発)における 基本設計評価結果の確認～

平成 27 年 12 月 11 日
評価専門調査会

1. 進捗状況等の確認について

総合科学技術会議(当時)は、平成 25 年度において、「エクサスケール・スーパーコンピュータ開発プロジェクト(仮称)」の事前評価を実施したところ、「その必要性や意義を踏まえ、基本設計を実施することが適当であるが、ターゲットアプリケーションや開発目標の設定、これらを踏まえた全体事業費の精査を含めた工程表の具体化等、今後明確にすべき事項があるため、平成 26 年秋頃を目途に総合科学技術会議において評価を実施する」こととされた。

これを踏まえ、「フラッグシップ 2020 プロジェクト(ポスト「京」の開発)」と改称された同プロジェクトについて平成 26 年度に再度の評価を行い、世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータの実現を目指すものとして、プロジェクトの意義・必要性を認め、開発目標の達成に向けた有効性、実現可能性等の観点から妥当な設計内容となっているかについて、大規模な投資を伴う製造段階への移行の前に確認を行う必要があるとし、具体的には、「評価専門調査会において、2015 年度の文部科学省における基本設計評価結果の確認を行うとともに、製造に向けた詳細設計の内容が定まる前段階の 2016 年度においてフォローアップを行う」こととされた。

今般、文部科学省における基本設計及び評価が終了することを念頭に、その内容の妥当性等を確認する。

2. 確認の進め方

(1) 評価検討会の設置等について

評価専門調査会に評価検討会を設置して調査検討を行った上で、評価専門調査会がその結果のとりまとめを行うこととする。

評価検討会の委員は、評価専門調査会に属する総合科学技術・イノベーション会議の議員及び専門委員の中から、評価専門調査会会長が指名した者(座長として指名した者を含む)及び同会長が調査検討に必要と認めて選考した外部の専門家・有識者等とする。

また、評価検討会は非公開で行い、評価検討会終了後に会議資料、委員氏名等を公表する。

(2) 実施スケジュール(予定)

平成 27 年 12 月 11 日 第 114 回評価専門調査会
対象案件及び評価検討会設置の確認
平成 28 年 2 月 3 日 評価検討会
文部科学省からの聴取に基づく調査検討
平成 28 年 3 月 1 日 第 115 回評価専門調査会
確認結果のとりまとめ

3. 確認の対象となる研究開発の概要

「フラッグシップ 2020 プロジェクト(ポスト「京」の開発)」

【文部科学省】

<事業概要>

世界最高水準のスーパーコンピュータを国として戦略的に開発・整備し、科学技術振興、産業競争力強化、安全・安心の国づくり等に貢献する。

具体的には、平成 32 年(2020 年)を運用開始のターゲットとし、幅広いアプリケーション・ソフトウェアを高い実効性能で利用できる計算機システムと、重点課題に対応したアプリケーションの開発を協調的に行い(Co-design)、世界を先導する成果の早期の創出を目指す。

<実施期間> 平成 26 年度～平成 31 年度

<予算額> 国費総額約 1100 億円